



平成 28 年 2 月 5 日
 (一社) 全国漁業就業者確保育成センター
 担当： 矢野・馬上
 電話： 03-5545-1617
 メール： info@ryoushi.jp

全国の漁師が「新しい仲間」を求めて集結！

漁師になるための就業相談会を東京と大阪で開催します

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区)は、漁業や漁師の魅力を知ってもらおうとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取組の一環として、「漁業就業支援フェア『漁師の仕事！まるごとイベント』」を開催しております。このたび 2016 年の第一弾として、**東京(3月5日)**と**大阪(3月12日)**で開催することとなりました。

【開催概要】

開催地	開催日時	会場	出展ブース
東京	3月5日(土) 12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	東京国際フォーラム ホール B7 千代田区丸の内 3-5-1 ※ JR 有楽町駅 直結	50 ブース (予定)
大阪	3月12日(土) 12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホール A B 大阪市北区大深町 3-1 ※ JR 大阪駅 直結 (グラン フロント大阪 B2F)	40 ブース (予定)



* 出展ブース数は変更になる場合があります。出展団体情報は順次「漁師.JP」で確認いただけます。

◇参加条件: 漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。

未経験者・家族連れ歓迎／参加費無料／事前の参加申込み不要(当日会場へ来場ください)
 ／履歴書不要／服装自由／入退場自由

◇主催: 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援: 水産庁

ライフスタイルの多様化などにより、若い世代の働き方や暮らし方が変化する中、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。一方で、国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化により、次世代の担い手が不足しています。このような状況の中、「漁師になりたい・興味がある」人と「新たな担い手を求める」漁協や漁業会社が出会う場である漁業就業支援フェアは年々注目を集めています。これまでに、フェア来場がきっかけとなり漁師への第一歩を踏み出した人もいます。また、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得て、今後漁業就業が選択肢のひとつとなった人もいます。

本フェアは、10年以上続いているイベントで、今年も3月の第1弾(東京・大阪)を皮切りに、全国各地で開催する予定です。

【問合せ先】

◇(一社)全国漁業就業者確保育成センター 電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00

◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>

◇主催: 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援: 水産庁

■「漁業就業支援フェア 2016」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果を基に、フェア終了後、出展団体の研修候補生に採用されるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について紹介する「ガイダンスコーナー」などを設けます。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスであり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



漁業就業支援フェア 2016 ポスターカット

■注目集める「漁業就業支援フェア」

昨年の「漁業就業支援フェア 2015」は4都市6会場で開催し、1200名を超える就業希望者の来場がありました。なかでも3月の東京会場では過去最高となる約400名の方が来場し、熱心に情報収集をする姿が見られるなど、漁業就業への関心の高さを証明する結果となりました。

(参考)漁業就業支援フェア 2015 の実績

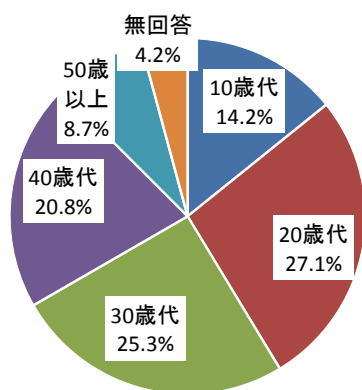
会 場	福岡	東京	大阪	仙台	東京	福岡	計
開 催 日	3月14日(土)	3月21日(土)	6月27日(土)	7月11日(土)	12月5日(土)	12月12日(土)	-
場 所	福岡県中小企業振興センター	ベルサール半蔵門	OMMビル	TKPガーデンシティ	ベルサール半蔵門	福岡ビル	-
出展団体数	27団体	52団体	68団体	20団体	52団体	32団体	-
来場者数 ※同伴者をのぞく	77人	382人	308人	73人	299人	86人	1,225人



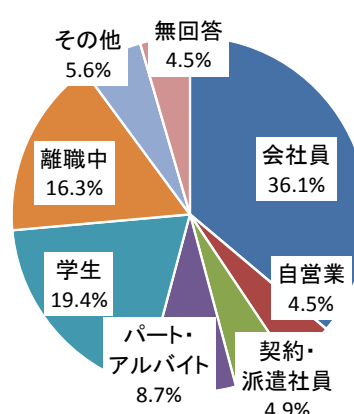
会場の面談風景

(参考)フェア来場者の属性

【来場者の年齢層内訳】



【来場者の職業内訳】

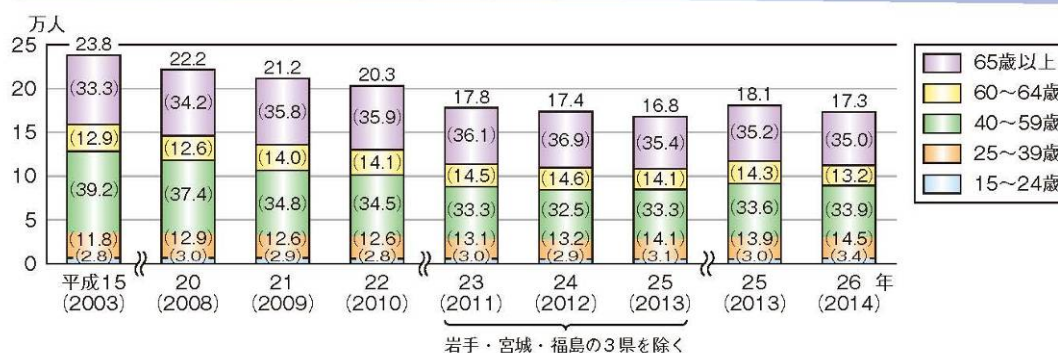


※2015年12月東京フェア来場者アンケートより

■漁業就業者数の動向

平成 15 年に約 24 万人であった漁業就業者数は、平成 26 年には約 17 万人へと減少、また、高齢化率は 35.0%と平成 15 年以降高い水準で推移しています。一方、漁業への新規就業支援施策などにより、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師への転職を目指す若者が増えるなど、平成 20 年以降の新規就業者の数は概ね横ばいで推移し、平成 25 年には 1,790 人が新たに就業しています。日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどが必要です。

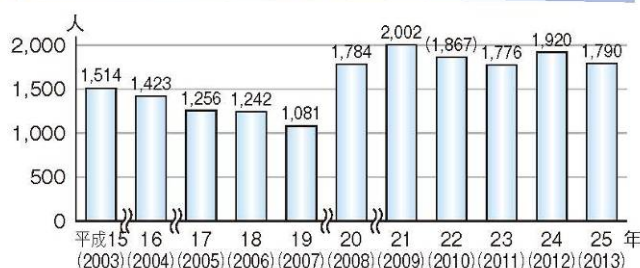
図Ⅱ－１－１１ 漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」（平成15（2003）年、20（2008）年、25（2013）年）及び「漁業就業動向調査報告書」（平成21（2009）～24（2012）年、26（2014）年）

- 注：1）「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者
 2）（ ）内は漁業就業者の合計を100%とした構成割合（%）である。
 3）平成20（2008）年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市町村に居住している者を含んでおり、2003年漁業センサスとは連続しない。
 4）平成23（2011）年、24（2012）年は、東日本大震災の影響により、岩手、宮城及び福島を除く集計である。

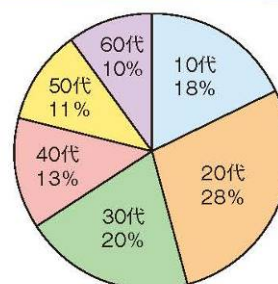
図Ⅱ－１－１２ 新規漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「農林水産省新規就業者調査結果」（平成15（2003）年）及び「漁業センサス」（20（2008）年）。平成16（2004）年、21（2009）～25（2013）年は都道府県が実施している新規就業者に関する調査から推計。平成17（2005）～19（2007）年は（一社）大日本水産会による漁業協同組合へのアンケート調査結果

- 注：1）調査が異なるため、平成15（2003）年と16（2004）年、16（2004）年と17（2005）年、19（2007）年と20（2008）年、20（2008）年と21（2009）年の結果は連続しない。
 2）平成22（2010）年は、東日本大震災により岩手県、宮城県、福島県の調査が実施できなかったため、21（2009）年の新規就業者数を基に、3県分を除いた全国のすう勢から推計した値を用いた。

図Ⅱ－１－１３ 新規漁業就業者の年齢組成（平成25（2013）年）



資料：都道府県が実施している新規就業者に関する調査に基づき水産庁で作成
 注：沿岸漁業就業者を対象としたものである。

資料：平成 26 年度水産白書

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当：矢野・馬上

電話：03-5545-1617（平日 10:00～17:00（土・日・祝日除く）） e-mail info@ryoushi.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目 9 番 13 号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushi.jp> 【twitter】@ryoushi_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。